



**なし**  
黒斑病、黒星病、輪紋病、  
うどんこ病に有効。



**みかん**  
灰色かび病、貯蔵障害(青かび病、緑かび病、黒腐病、軸腐病、白かび病)に有効。  
**かんきつ**  
幹腐病に有効。



**おうとう**  
灰星病に有効。



**もも**  
灰星病、黒星病、  
ホモブシス腐敗病に有効。

効きめと使いやすさで選ぶなら!

# 実力の一本!

## 「ベルコートフロアブル」

**アスパラガス**  
斑点病、褐斑病に有効。



ミツバチ・マルハナバチに適用濃度で影響なし!  
無人航空機でも散布できます。



よく振って  
お使い下さい。



**トマト・ミニトマト**  
灰色かび病、葉かび病に有効。



**なす**  
灰色かび病、うどんこ病、  
すすかび病、黒枯病に有効。



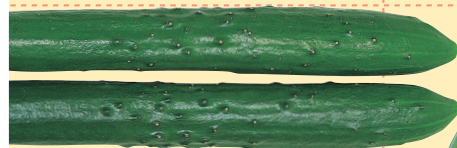
**りんご**  
斑点落葉病、黒星病、褐斑病、  
すす点病、すす枯病、輪紋病、  
黒点病、うどんこ病に有効。

しっかり「防除」  
がっちり「収穫」

**にんじん**  
黒葉枯病、うどんこ病、  
斑点病に有効。



**たまねぎ**  
灰色かび病、灰色腐敗病  
に有効。



**きゅうり**  
灰色かび病、うどんこ病、  
菌核病に有効。

**やまのいも**  
葉渋病、炭疽病に有効。




**すいか**  
炭疽病、菌核病、  
うどんこ病に有効。

**茶**  
炭疽病、輪斑病、  
新梢枯死症に有効。





 効果・薬害等の注意

- 使用する際は、容器をよく振ってから使用してください。
- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- イミノクタンを含む農薬であるので、他のイミノクタンを含む農薬の使用回数と合わせ、作物ごとの総使用回数の範囲内で使用してください。
- 5℃以下では増粘あるいは固化により、容器から取り出しにくくなることがあるので、50℃以上の湯に容器の肩まで浸し、1時間以上経過した後、室温まで放置し、よく振ってから使用してください。
- おとうごに使用する場合、着色期の散布では葉害（着色障害）が生じるおそれがあるので、使用しないでください。
- りんごの落花直後から落花後25日ごろまではさび果を生じるおそれがあるので、からならないように注意してください。
- 西洋なしの品種ル レクチエではさび果を生じるので、使用しないでください。
- 缶桃14号などの缶詰用品種の中でも葉に葉斑を生じるので、からならないように注意してください。
- かき品種西村早生では葉に葉斑を生じるおそれがあるので、からならないように注意してください。
- 幼果期のメロン、ばらに対して葉害を生じるおそれがあるので、からならないように注意してください。
- キャベツに使用する場合、浸透性を高める効果のある一部の展着剤を混用すると葉害を生じる場合があるので、展着剤混用にあたっては事前にその適否を確認してください。
- やまのいも（むかご）に使用する場合、種いも（やまのいも）を浸漬処理してください。
- チューリップに使用する場合、花卉に葉害が生じるおそれがあるので、出蕾期以前に使用してください。
-  室に対して毒性があるので、葉にかからないように注意してください。
- 散布量は、対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ調節してください。
- 無人航空機による散布を行う場合には、次の注意事項を守ってください。
  - ①散布機種、散布基準に従って行ってください。
  - ②散布機種に適合した散布装置を使用してください。
  - ③散布中に薬液の漏洩がないよう、事前に機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
  - ④散布薬剤の飛散によって他の動植物等に影響を与えないよう、散布区域の選定に注意するとともに、散布区域内の諸物件に十分留意してください。
- 常溫煙霧処理する場合には、次の事項に注意してください。
  - ①専用の常溫煙霧機により所定の方法で煙霧してください。
  - 特に常溫煙霧装置の選定及び使用に当たっては病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
  - ②作業はできるだけ刻刻に行い、作業終了後6時間以上密閉してください。
- 使用方法などを厳守してください。特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に葉害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

 **安全使用上の注意**

- 誤飲などのないように注意してください。
- 眼に対して刺激性があるので、眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。



- 袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は、直ちに手足、顔などを石けんをよく洗い、洗眼・うがいをするとともに、衣服を交換してください。
- 作業時に着用している衣服等は、他のものとは分けて洗濯してください。
- 常温煙霧中はハウス内へ入らないでください。また常温煙霧終了後はハウスを開放し、十分換気した後に入室してください。

**水産動植物への影響:**水産動植物(甲殻類・藻類)に影響を及ぼすおそれがあるため、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意して使用してください。浸漬後の薬液は、河川等に流さず、水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器的洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

**保管:**密栓し、直射日光を避け、食品と区別して、小児の手の届かない冷涼な所に保管してください。

※収穫開始後は使用しない。

※本資料は2025年12月現在の登録内容に基づいています。 2566(26-1)